学校だより
薫る双葉
～チームワーク・フットワーク・ネットワーク～
令和８年１０月７日
第１２号

たくさんの思い出と成長を胸に～修学旅行を終えて～

６年生は９月 17 日から 18 日までの２日間、鎌倉・八景島方面への修学旅行を実施しました。
修学旅行中の２日間だけ、奇跡的に天候にも恵まれ、すべての行程を予定通り無事に終えることができました。これも６年生の日頃の行いと、１年生作のテルテル坊主の効果でしょう。
旅行中の子どもたちは、見学地でのきびきびとした集団行動や、公共のマナーを守った素晴らしい態度を見せてくれました。お互いに声を掛け合い、助け合う姿からは、最高学年としての大きな成長が感じられました。見知らぬ土地の歴史や文化に触れ、仲間と寝食を共にしたこの２日間は、子どもたちにとって生涯忘れることのない、かけがえのない財産となったはずです。
出発に至るまでの準備や送迎など、多方面から温かく支えてくださった保護者の皆様のバックアップがあったからこそ、この修学旅行が大成功に終わりました。これまでのご準備とご協力に、心より深く感謝申し上げます。
今後は、この旅で得た学びと自信を日々の学校生活に活かし、さらに学校をリードする存在になってくれることを期待しています。
今号は、修学旅行実行委員６名の感想を紹介します。

僕は、修学旅行実行委員になりました。
実行委員をやって学んだ事は二つあります。
一つ目は、準備です。修学旅行のめあてでもありましたが、しおりを見て予定を確認することで、何をするか把握しておくことが大切だと思いました。
二つ目は立場の重さです。打合せなど、みんなの知らないところで苦労したので、先生方も苦労していることが分かりました。
僕は、実行委員をやってつかれましたが、同時に実行委員をやってよかったと思いました。

【６年１組　河戸　陽向　さん】

私が実行委員になった感想は、出発式と到着式の話がとても緊張しました。そして、修学旅行のテーマ、「『準備』『協力』『きまり』を守り、公共の場の過ごし方を考え、男女仲良く、思い出いっぱいの修学旅行にしよう！」を、実行できたと思います。
忘れ物なくみんなで協力し、きまりを守って行動し、思い出いっぱいの修学旅行にできました。
いろいろな友達のよさをたくさん発見し、困った時はどうすればいいかを一緒に考えることができました。最高の二日間でした。

【６年１組　佐々木　紗楽　さん】

今回の修学旅行で学んだことは、男女関係なく行動したり、話し合ったり、楽しんだりすることがとても大切だということです。
なぜかというと、めあてでも、校長先生のお話でも、男女仲良くするということを言っていて、双葉小ではとても大切なことがよりわかり、それを修学旅行に行って納得しました。
例えばそうじの時、男子と女子で同じ場所なのに協力せず、それぞれ自分勝手なことが多かったからです。でも、修学旅行に行ったことでそれぞれの良さがわかり、きずなが深まったと思いました。
これからも、学校で男女仲良くし、いい学校にしたいなぁと思いました。

【６年１組　山本　虎市　さん】

ぼくが、修学旅行に個人で立てた目標は、「みんなで無事に銚子に帰ってくる。」です。みんなで無事に戻ってこられたのが一番よかったです。
自分は実行委員としての仕事をしつつ活動したので、みんなより大変でしたが、班行動や部屋での友達との活動が何より楽しかったです。自分は実行委員でしたが、楽しみすぎて浮かれてしまい失敗し反省すべき所もあったので、これからの学校生活や家での行動をきっちりただして、よりよい学校生活にします。
実行委員で大変だったのは、自分の班活動をしつつ、実行委員のあいさつや自己しょうかいや進行をしたりしてわりと休むひまがありませんでしたが、みんなと楽しめたので、その疲れを全部忘れられました。

【６年２組　深澤　隆博　さん】

僕は、実行委員として出発式の進行とホテルでの代表あいさつを担当しました。その中でも出発式の司会はたくさんの人が見ている中で緊張しましたが、言い間違えずきちんと進行できて修学旅行の良いスタートが切れました。

代表あいさつでは、ホテルの人に感謝の気持ちが伝わるように意識しました。後日先生から、「ホテルの方が双葉小が今までで一番マナーの良い小学校だったと言っていた。」と聞いてうれしかったです。

この修学旅行で一番楽しかったことは、美味しいわらび餅を食べたことです。口の中で溶けるような食感が忘れられません。

６年生最後の修学旅行は、学年の誰一人欠けずに全員で行けて、最高の思い出になりました。

【６年２組　苫谷　稜太 さん】

私が修学旅行の実行委員になった理由は、修学旅行でみんなの支えになりたいと思ったからです。

小学校生活で最高の思い出を作るために、みんなが安全に行動できるように、代表の言葉や進行のセリフの練習をたくさんしました。

私は、代表の言葉のように長い文を覚えるのが苦手なので、「言葉を忘れてしまったらどうしよう。」と不安になったのですが、「みんなの最高の思い出にしないと。」と思って、暗記をがんばりました。リハーサルで先生からアドバイスをもらい、「私は一人ではないんだ。寄り添ってくれる人もいるんだ。」と、自信もつきました。

本番では、代表の言葉がスラスラと言えて、みんなの協力のおかげで式もスムーズにできました。協力をしてくれたみなさん、ありがとうございました。リハーサルや本番で友達と一緒に取り組むことで協調性を学ぶことができました。これからも友達と一緒に協力して取り組む気持ちを大切にしていこうと思います。

【６年２組　木藤　絢萌 さん】